

予算決算審査委員会 総務産業分科会報告書

平成27年9月25日

備前市議会議長 田 口 健 作 殿

総務産業分科会
主査 田 原 隆 雄

平成27年9月25日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	備 考
議案第97号 平成27年度備前市一般会計補正予算（第4号）中、 総務産業分科会所管部分のうち、市長室・総合政策部関係の審査	—

《 分科会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第97号の審査	2
閉会	6

予算決算審査委員会 総務産業分科会記録

招集日時	平成27年9月25日（金）	総務産業委員会休憩中		
開議・閉議	午前11時21分	開会　～	午前11時48分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中(第5回定例会)の開催		
出席委員	主査	田原隆雄	副主査	川崎輝通
	委員	山本恒道		尾川直行
		掛谷　繁		西上徳一
		山本　成		
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	田口健作		
	参考人	なし		
説明員	市長室長	有吉隆之	総合政策部長	藤原一徳
	日生総合支所長	星尾靖行	企画課長	佐藤行弘
	秘書広報課長	藤田政宣	総務課長	高橋清隆
	危機管理課長	大岩伸喜	財政課長	河井健治
	吉永総合支所 管理課参事	高井利広		
傍聴者	議員	守井秀龍	立川　茂	石原和人
		森本洋子	星野和也	
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前11時21分 開会

○**田原主査** ただいまの出席者は全員です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会総務産業分科会を開会いたします。

本日は、議案第97号中総務産業分科会のうち、市長室・総合政策部関係の審査を行います。

それでは、補正予算書の8、9ページ、地方特例交付金、地方交付税でいかがですか。

○**尾川委員** 地方交付税の総額は、昨年と比べて幾らかふえていますか。

○**河井財政課長** 普通交付税ですが、前年比で申し上げますと、2億3,000万円程度、前年の決算ベースからいいますとふえています。

○**尾川委員** その増加理由というのは、ふえるのはありがたいことですが、減る減るといってきっていますが、ふえてきたりするのがどうもよくわからない。どういう計算でそうなるのか。

○**河井財政課長** 増加要因ですが、国全体としては全体で0.8%の総枠は減という形になっていますが、人口減少等特別対策事業費というものが新たに算定されています。これが約2億1,000万円程度基準財政需要額の中へ盛り込まれています。

それと、昨年度の交付税検査において錯誤措置というものがございまして、過年度、平成22年度から24年度にかけての交付税の算定誤りというものがあり、1億2,000万円程度追加でここで臨時的に過年度分をいただいています。その影響がございまして、合併による恩恵を受けていた部分一本算定までの減額が始まった年ではありますが、その影響を受けましたが、約2億3,000万円程度増加したという部分です。

○**尾川委員** ほんなら、実質的に1.1億円はふえたということになるわけですね。そういう考え方でいいわけですか。

○**河井財政課長** そうです。錯誤分は臨時的なものでありますので、この1億2,000万円程度の錯誤分について翌年度はもう発生しない経費になりますので、実際には対前年度比で申し上げますと、約1億円程度増加したという結果です。

○**尾川委員** これは計算間違いしても払ってくれるわけですね。

○**河井財政課長** 2年に1度必ず検査がございまして、そのときに誤りが見つければ、きちんと精算いただいています。

○**尾川委員** 特交のほうはまだ決まらない。特交を減らされたら一緒ですからな、これ。どんなになるのかなと思って。特交が大体年度末か、最終的につなぎみたいですけど。その辺はどんな予想をしていますか。ぬか喜びしようたらえらいことになるんじゃないかなと思うて。

○**河井財政課長** 特交についても普通交付税と同様に全国的な出口ベースというものは減ってきています。ただ、ことしのように災害とかそういったものが各地で発生していますので、特殊要因はほかの地域がかなりあるという状況下でありますので、特別交付税について大きな期待はできないというふうには考えています。ただ、決定はあくまでもまだ先ですので、今の段階ではまだ市としては要望準備をしているような段階です。

○**尾川委員** いつごろになりますか、特交は。

○河井財政課長 年を明けて3月ぐらいになると思います。

○尾川委員 最後に、特交があるからぬか喜びせずに、ぼっこう使わずに、散財せずにちゃんと締めてください、ちょっとその点を。

○河井財政課長 特別交付税分を当てにすることなく、十分堅実な財政運営に努めてまいります。

○田原主査 ほかに

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

8、9ページの中で、使用料でございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

12、13ページ、財産収入、繰入金で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

14、15ページ、繰越金で。

○川崎副主査 雑入にもならないと思いますが、ふるさと納税の関係で相当これまでの議会でも議論してきています。3月までの締め、26年度決算今出ているわけで、4月以降制度を変えたということで、納税がふえて、入ってきていますが、逆に同じだけ出ていってプラ・マイ・ゼロだという議論もあったと思うので、昨年26年度のふるさと納税で出ていった金額というのは把握できているのでしょうか。わかっているならその金額、どのぐらい本来市民税のうち2割がよその市町村へふるさと納税で出ていった、そういうもののチェックはどうなっているのかということをお聞きします。

○佐藤企画課長 この後の委員会の報告事項でお話する予定にしておりましたが、今質疑が出ましたので、御報告させていただきます。

26年度中に備前市民が備前市へも含みますが、自治体へ寄附した人数と金額についてお知らせいたします。人数は52人で、金額は171万1,000円となっています。

○川崎副主査 備前市のがもう一つよくわかりませんが、ほとんどがこの市外へ出ていったという捉え方をしてよろしいのでしょうか。

○佐藤企画課長 恐らくは備前市民が備前市外へ寄附したというふうに考えていいと思いますが、100%そうかというところまで把握はできませんので、100%ではないですが、多分全部が市外へ寄附されたものというふうに思います。

○尾川委員 ふるさと納税の絡みで、予算とちょっと離れるかもわかりませんが、よく市民に聞かれるのは、何ぼ入って、お土産を何ぼ出して、それでほかにいろんなことに使おうやつを教えるほしいと言われるわけです。ある時期時期でいいですから、例えば26年度の締めで行くとか、それから27年度の上期で締めるとか、きちっとした、それは用途を言うたら使うところがまだ流動的な後の分があるかもわからんけど、ある程度決めていると思います、予算当てしていると思う。だから、ふるさと納税で何ぼ入って、地方もできたらどうせ分析していると思います。関東地方とか関西地方とか、九州地方だと。どういうところが本当備前市に関心を持ってく

れているのかというのを知りたいので、ふるさと納税してくれた人の地区とか人員とか金額で幾らお土産を出して、その後残りを何に使っているのかというのをぜひ教えてもらいたい。

○佐藤企画課長 直接この補正予算とは関係がないですが、寄附者の住所地の地方別というようなことも分析はできようかと思えます。それから、いただいた寄附金の返礼品を含めた用途についてもお知らせしたいと思えます。

○尾川委員 それに関連して言いたいのは、特別アウトに出さずに、今までも事業として予算つけているものを使って、受け売りですけど、その分を基金へ回す、今度も基金を取り崩ししているわけですけど、そういう方法もやはり考えていって、今話聞いたように地方交付税1.1億円ぐらいは増加しているようなありがたい話ですけど、これどうなるのかわからないですけど。

〔「委員長、おかしいですよ。ふるさと納税なんかどこへあるんですか。雑入じゃろ」と掛谷委員発言する〕

何で、聞いたらいけんのんか。まちづくり応援基金繰入金絡みでええんじゃねんか。

〔「何か違うような気がするんですね。どうなんですか」と掛谷委員発言する〕

判断してくれればいいよ。やめえ言われればやめます、それは。

○田原主査 関連ですから、差し支えなかったら言うてくれたらいいし、難しかったら所管事務調査でまた。

〔「そうすりゃええんじゃ。そのほうがええわ」と掛谷委員発言する〕

次、歳出へ入りたいと思えます。

16、17ページの地域振興費を除く1から9目までです。

○山本（恒）委員 電算管理費、マイナンバーとは全然関係なしですか。

○佐藤企画課長 今回補正予算でお願いしています電算管理費の情報ネットワーク設定委託料等情報機器については、先ほど来からお話に出ていますマイナンバー制度の実施に係るものです。

○山本（恒）委員 こんな少しの金額の増で全部整備ができるわけ。

○佐藤企画課長 これが全てというわけではございません。今ここでお願いしているのは、ことしの12月までには整備を終えておかなければならないというものでして、今後必要なものが出てくれば、そのときにお願いしたいと思えます。

○山本（恒）委員 トータルでこれからは今の国の言う番号にしたら備前市の場合はどれぐらい今後要るような腹づもりというんですか、そこら周りは、どんなですか。

○佐藤企画課長 今後どのぐらいの金額が必要になるかという御質問ですが、申しわけございません、今のところはどれぐらい要るかというのは把握していません。これから国のほうからどのような仕様にしなさいというのが明らかになってきましたら、そのときにまた計上したいと思います。

○山本（恒）委員 国なんかはいろいろカードができれば個人の店みたいなどころへ何か行った

りするという、定率減税の払い戻しとかというたりして、4, 700億円とかというたりして、いかげんな数字が出ていますが、70万件とかというたりするような、うちの場合は人口の比でいって今4万人足らずですから、大体全然大枠も何もまだわかっていない。難しい、もうぎょうさん入れられたら高くなるから、今入れないわけ。

○佐藤企画課長 今の時点では申しわけないですが、まだ全体がわかっていないので、先ほどからの答弁になっています。

○尾川委員 一般管理費、負担金補助及び交付金の都市東京事務所長会負担金と東京岡山県人会負担金について、負担理由を教えてもらいたいし、その負担金はどういう基準になって負担になっているのか教えてほしい。

○藤田秘書広報課長 それぞれに規約がございまして、都市東京事務所長会では、規約のほうで2万4,000円という負担金の金額が決まっています。何を行うかと申しますと、各所管事務の連絡推進、あと情報交換、所管事務の研究、それから会員の研修といったものを行うようです。

それから、東京岡山県人会ですが、こちらも規約で会費が決まっており、目的については、東京及びその近郊における岡山県人相互の親睦を図り、郷土岡山県の発展に寄与することを目的とするということです。総会以外に岡山県人集いの開催とか役員会の開催、それから岡山の県政、観光、特産品等に関する情報の提供、それから会報の発行とかを行っているようです。

○尾川委員 この入会時期といいますか、他市入会時期と、補正だから今回初めてと思います。他市もこんなものに入って、東京事務所をつくっているところは少ないと思うし、今までも東京事務所ではないけど、岡山県のところへ備前市の人を派遣していた、それとはまた位置づけが違うかもわかりませんが、そのあたりはどんなんですか。他市、他の自治体岡山県内いろいろあると思いますが、その点ちょっと。

○藤田秘書広報課長 他市の状況ですが、今年度の会員数で66団体が加入しています。加入の時期ですが、今も会費を納めていないので、オブザーバーの会員として活動だけは行わせていただいているという状況です。

○尾川委員 今66団体と言われるけど、会社関係、経団連とか、いろいろそういうのも入った中でも、私が今聞いたの、例えば瀬戸内とか赤磐とか和気町とかが入っているのかどうかという意味で質問したわけです。

〔「県人会のほうでしょうか」と藤田秘書広報課長発言する〕

いやいや、東京事務所。

○藤田秘書広報課長 東京事務所は東京に事務所がある都市が入っていますので、66団体ということになります。

○尾川委員 東京事務所のほうが。

〔「はい」と藤田秘書広報課長発言する〕

東京岡山県人会、これはもう会合があるたびに払う金、年間費、これ2,000円。

○藤田秘書広報課長 年会費でございます。

○尾川委員 つき合いというのはやったら何ぼでもええんじゃ、確かに、私らもやりようたけど。だけど、大阪とのバランスもあろうし、名古屋とのバランスもあろうし。どうせこれ行ったらまた会費が別に要るわけ、大体、いろいろとな。そういうのも考えてみて、よく成果の把握をしてほしいわけです。その辺どんなか教えてもらえたら。東京で東京事務所長ということで66団体何がし、すごいなとびっくりしたわけですが、ちょっとその辺を答弁してもらえたら。

○藤田秘書広報課長 活動の内容ですが、総会以外に年間に研修会が2回、それから幹事会が年間に5回ぐらい行われています。そのたびに研修であるとか、あと例会については著名な方をお呼び招聘して講演を聞いたりしているようです。あと、情報交換についても職員の交流会であったり、所長同士の交流会であったり、いろいろあるようですので、年間活動内容は先ほど申し上げたような感じですが、大体十五、六回集まっているようです。

○山本(恒)委員 安全対策費、19負担金補助及び交付金、防犯灯、何基ぐらいできるんですか。

○大岩危機管理課長 1灯当たり平均2万円と見ており、25灯で50万円を計上させていただいています。

○山本(恒)委員 ことは大体何基ぐらい予定されとったんですか。

○大岩危機管理課長 この50万円を含め450万円の予算になりますので、2万円で割りますと、大体225基となります。新設と取りかえを含めて225基ということになります。

○田原主査 ほかに、16、17ページはないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、20、21ページの統計調査費で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、28から31ページまでの10款、社会教育費、文化施設費で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、32ページから33ページ、公債費並びに予備費で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体で質疑漏れがあればお受けします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、議案第97号中、総務産業分科会所管部分の内、市長室・総合政策部関係の審査を終了します。

以上で、総務産業分科会を閉会いたします。

御苦労さまでした

午前11時48分 閉会